

2014～2015年度 秋の上級ライラ報告

青少年活動委員会 委員長 **井上善博**
(東大阪みどりRC)

今回の秋の上級RYLAは、私が経験をしてきた中で最も台風の影響を受けたRYLAでありました。

当初の予報では、開催日の当日に関西直撃の超大型台風19号がやってくるということで、開催自体を取りやめるかどうかという事を真剣に考えた程で、実際二日前にGOサインを出すまで何回天気予報を見たか覚えていないくらいでした。結果的には、関係者の皆さんのパワーによって(?) 台風のスピードが鈍り、最終日の閉講式は短縮したものの、全てのプログラムを予定通り消化でき、ホットした事をとて印象深く記憶しております。

内容的にもとても満足できるものとなり、ホストクラブ大阪平野RC様の「若者よ 羽ばたこう! 飛び出そう! 世界の空に!」というテーマに沿ったプログラムが展開され、16名の受講生の皆様の胸に大きく響いたと確信いたしております。

開講式での切池信夫先生の基調講演では、いか

に心と意志力を鍛えることが大切であるかという事を知り、プロフェッショナルを目指して意義のある人生を歩もうという素晴らしいもので、ロータリアンも感銘を受けました。

二日目の平野RC様会員の中村様のお話は、ご自分の体操選手の経験に基づいたもので、いかにストイックに努力をし続けることで難局を打開できるかという大変参考になるものでした。チームライラ主導の各プログラムもペーパータワーから始まり、漂流脱出ゲーム、野外プログラム、自炊、そして最終日のAS IS TO BEに至るまで、よく練られて準備され、ホストクラブ様との打合せの濃密さを感じさせてくれました。

なんといっても、平野RC様の吉村会長、吉原実行委員長を始めとした、参加された会員様および事務局様の一年をかけた周到な準備と情熱がこの上級RYLAを成功に導いて頂いたという事を特筆すべきであります。本当にありがとうございました。

このRYLAの成果はすぐに現れるものではありませんが、閉講式でも言わせて頂いたとおり、何年・何十年後にライラリアンの同窓会をした時に、受講生達がどれだけ魅力的な社会のリーダーになっているか、素晴らしい人間になっているかで判るものであります。きっと最近催された打ち上げ同様、楽しい感動的な日になることと確信しております。その日を心待ちにして当委員会も前進していきたいと思っております。

ありがとうございました!

